

4

未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう

教育・文化

- 4-1 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり [学校教育]
- 4-2 生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造
[生涯学習／地域教育／青少年の健全育成／芸術・文化]
- 4-3 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進
[スポーツ・レクリエーション]
- 4-4 多様性を尊重し合える社会づくり
[男女共同参画・人権／国際交流・多文化共生／地域間交流]



4-1 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり [学校教育]



1 現状と課題

GIGAスクール構想に基づくデジタル技術の活用や授業のオンライン化、児童生徒数の減少による小規模校化の進展など、こどもたちを取り巻く教育環境は大きく変化しています。また、社会における様々な場面で、ICT*やAI*の活用が急速に進んでおり、新しい時代に柔軟に対応できる資質・能力の育成が必要とされています。

これからは、デジタル社会に対応できる能力と、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力等の育成や学びに向かう力、人間性等の育成を図るとともに、ふるさとへの愛着と誇りをもち、未来の本市を担うことのできる人財の基礎をつくっていくことが重要です。

学習指導要領に基づき「個別最適な学び」と「協働*的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた誰一人取り残すことのない「インクルーシブ教育*」の充実が求められます。

また、少子化に加えて学校施設の老朽化が顕著になっている状況を踏まえ、施設の適正配置を念頭に計画的な施設・設備更新や学校再編の検討により適切な教育環境を構築するほか、猛暑などの異常気象への対策として体育館への空調設備の導入など、新たな需要への対応を検討し、持続可能な教育行政の運営を図っていく必要があります。

今後ますます高度化・複雑化する諸課題へ対応するため、学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組む「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」をさらに進展させ、これまで以上に、学校・家庭・地域の連携を図り、「地域とともにある学校づくり」を目指していく必要があります。

■ 2 基本の方針

- 児童生徒の確かな学力を保障し、豊かな人間性、健康・体力のバランスのとれた育成のため、きめ細やかな少人数指導体制、多様な支援体制、支援員の配置、相談体制の充実を図ります。併せて、学校現場において「ふるさと学習」「英語学習」「プログラミング学習」など特色のある教育活動を柱に据えて、新しい授業・学習への取組、地域の文化・歴史に触れる体験的学習、地域ぐるみの指導支援体制などの充実を図ります。
- こどもたちが安心・安全に学校生活を送れるよう、結城市学校施設個別施設計画に基づいた学校施設の老朽化対策を早急に行う必要があるため、余裕教室の状況、児童数の地域間格差等を踏まえ、計画的に改修を進めていきます。
- 市内小中学校の在り方については、将来の児童生徒数の推移を的確に判断しつつ、結城市学校適正配置等に関する方針に基づき、小学校の統廃合及び新設校建設の検討や学区再編、通学区域の見直しにより、児童生徒数の平準化を図り、適正規模の学校運営を目指します。
- 学校給食については、児童生徒の心身の健全育成、望ましい食習慣の形成に資するため、栄養バランスの充実はもとより、地産地消及び食育*活動の推進並びに有機食材の活用など魅力ある学校給食を実施します。
- 返還免除型の奨学金制度の活用を図り、教育の機会均等及び市内企業への就職等による移住定住を促進します。

3 基本施策の主な指標

	指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
指標1	全国学力・学習状況調査質問紙「将来の夢や希望をもっていますか」	78.25%	80%	80%
指標2	まちづくりの満足度－地域資源（結城紬や農業）を活用した特色ある教育（結城市総合計画「市民意向調査」）	3.05	3.15	3.25

4 施策体系・施策が目指す姿

1 学校教育の充実

一人一人に応じたきめ細かな指導による学校教育を実践するとともに、少子高齢化、グローバル化*、デジタル化など変化の激しい社会を生き抜く力を備えた人財の育成を図ります。

また、学力などの「認知能力」に加え、様々な体験型学習によって培われる自律性や協調性などの「非認知能力」を育み、両方の能力をバランスよく高め合うことで、変化に対応できる総合的な人間力を養います。

2 安心して学べる学校づくりの推進

学校施設の改修等により、施設・設備の充実、不審者等の侵入防止等を図るほか、学校の適正配置及び小中一貫教育の推進に向けた具体的な取組を実施します。

また、不登校児童・生徒への支援や就学指導支援体制を構築するなど、ハード・ソフトの両面から安心して学べる学校づくりを推進します。

3 魅力ある教育の推進

本市が目指す地域に根差した特色ある教育を推進するため、児童生徒、保護者、学校及び地域との連携を密にし、地域素材を生かした教育活動を推進します。

5 個別施策・主要事業

1 学校教育の充実

ティーム・ティーチング（TT）*非常勤講師や特別支援教育支援員の配置により、きめ細やかな指導を実施するほか、ICT*環境整備や活用方法の検討を進めます。

また、学校給食における地産地消・有機食材の活用を推進するとともに、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の充実により、学校・地域・家庭が連携した特色教育の推進を図ります。

● 重点事業

○ 社会人TT等配置事業 [学校教育課、教育支援課]

市TTや特別支援教育支援員の配置による、児童生徒一人一人の習熟度に応じた、よりきめ細やかな指導の実施

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
配置人数 (TT・支援員)	5人・35人	5人・35人	5人・40人

○ 水泳学習指導民間委託事業 [学校教育課]

小学校の水泳授業における民間スイミングスクールを活用した指導委託

実施校	3校	3校	5校

● 小中学校ICT整備推進事業 [学校教育課・教育支援課]

小中学校へのICT*機器の整備と支援員の配置による利活用の推進

端末利用率 (毎日)	児童 8% 生徒 14%	児童 30% 生徒 50%	児童 50% 生徒 80%

○ 学校給食センター運営管理事業【再掲】 [学校教育課]

安全で栄養バランスのとれた給食の提供

地産地消献立の実施	23回/年	23回/年	23回/年

○ コミュニティ・スクール推進事業 [学校教育課]

保護者や地域が力を合わせて学校の運営に取り組む学校運営協議会の充実

参画の達成度	—	60%	80%

主要事業

後期基本計画

体系別計画

保健・福祉

都市・環境

産業・観光

教育・文化

協働・行政

2 安心して学べる学校づくりの推進

老朽化した小中学校施設の改修や体育館への空調整備の導入などを推進するほか、学校規模や地域の特性に合わせた小中学校の適正配置を検討し、特色ある魅力的な小中一貫教育の充実を図ります。

また、教員に対しても教育支援に関する研修会等を開催するとともに、スクールソーシャルワーカー*の派遣や教育支援センターフレンド「ゆうの木」の拡充を図り、インクルーシブ教育*を推進します。

加えて、小学校入学予定者に入學祝品を支給するとともに、大学生や専門学校生などへの条件付き返還免除型の奨学金を貸与することで、経済的な理由により修学の機会を損なわないよう支援します。

● 重点事業

○ 小中学校施設整備事業 [学校教育課]

小中学校体育館への空調設備の設置

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
設置数	0校	3校	12校

○ 小中学校適正配置等推進事業 [学校教育課]

学校の適正規模、適正配置の検討、小中一貫校等の設立の推進

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
適正配置計画策定	策定(R4.3)	策定	見直し

● 結城南中学校区新設校建設事業 [学校教育課]

新設小学校の建設

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
学校設置数	0校	1校	1校

○ 児童生徒自立支援事業 [教育支援課]

スクールソーシャルワーカー*(SSW)の派遣、教育支援センターフレンド「ゆうの木」の運営

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
SSW及び生徒指導相談員	5人	6人	6人

○ 地域未来塾運営事業 [生涯学習課]

中学生の学習習慣の確立や基礎学力向上

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
開催回数	53回/年	55回/年	55回/年

○ 入学祝品支給事業 [学校教育課]

小学校入学予定者へのランドセルの支給

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
給付率	100%	100%	100%

● 奨学金貸付事業 [学校教育課]

条件付き返還免除型の奨学金の貸付

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
制度利用者定住化率	-	60%	60%

主要事業

4 未来を担う子どもと生き生きした市民を育む地域を目指そう

4-1 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり

3 魅力ある教育の推進

外国語指導助手（ALT*）の人員の充実を図るとともに、英語検定料補助の活用を促進し、児童生徒の英語力の向上を目指すほか、地域資源*を活用した体験活動、コンピューター教育及びプログラミング教育などを推進します。

● 重点事業

主要事業

● 英語学習推進事業 [教育支援課]

小中学校へのALT*の派遣と小学校への英語専門指導員配置

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
授業時間数 (1学級当たり)	小(高)70時間 中(全)70時間	小(低)10時間 小(中)35時間 小(高)70時間 中(全)70時間	小(低)10時間 小(中)35時間 小(高)70時間 中(全)70時間

○ 読書活動奨励推進事業 [教育支援課]

読書活動に積極的に取り組んでいる児童生徒への「市長賞」の授与

達成率	小 33.8% 中 9.7%	小 35% 中 10%	小 35% 中 10%
-----	-------------------	----------------	----------------

● ふるさと学習推進事業 [教育支援課]

中学校2年生対象の結城細体験学習の実施

参加者	中学2年生 全員	中学2年生 全員	中学2年生 全員
-----	-------------	-------------	-------------

● プログラミング学習推進事業 [教育支援課]

小学校でのテキスト型プログラミング学習の実施

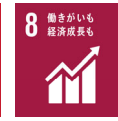
実施学級	小学4～6年生 全学級	小学4～6年生 全学級	小学4～6年生 全学級
------	----------------	----------------	----------------

6 個別計画

計画の名称	計画期間	担当課
結城市学校施設個別施設計画	2021（令和3）年度～	学校教育課
結城市学校適正配置等に関する方針	2022（令和4）年度～	学校教育課
結城城南中学校区新設校基本構想・基本計画	2022（令和4）年度～	学校教育課

4-2 生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造

[生涯学習／地域教育／青少年の健全育成／芸術・文化]



1 現状と課題

「人生100年時代」や「超スマート社会」に向けて社会が大きな転換期を迎えるとともに、新型コロナウイルス感染症を契機とする新しい生活スタイルや多様な価値観の浸透など、私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、市民一人一人が生涯を通じて学習を続け、主体的に行動することが求められており、生涯学習*の重要性は一層高まっています。

また、子どもたちを取り巻く環境もその影響を大きく受けるため、家庭や地域がその教育力を高めることが重要です。

市民情報センター・ゆうき図書館及び市立公民館は、ともに生涯学習*を支援する地域の拠点施設として、ボランティア団体の育成支援や学習活動及び読書活動の促進を担っています。

市民文化センターアクロスは、令和6年度から特定天井等の改修工事を実施し、地域における文化創作活動の拠点となっています。

しかしながら、市民情報センター・ゆうき図書館は約20年、市民文化センターアクロスは約30年と、いずれの施設も開館から長期間が経過しており、施設や設備の老朽化による改修・修繕費の増加が課題となっています。

本市が有する歴史的・文化的資料については、その収集・保存が課題となっており、国指定史跡結城廃寺跡附結城八幡瓦窯跡に代表される史跡と併せ、適切な管理や整備を検討し、活用していく必要があります。

2 基本的方針

- 市民の生涯学習*の機会を充実させるため、多様な価値観・ライフスタイルや利用者のニーズに応じた公民館講座の開設など生涯学習*基盤の整備を進めるとともに、家庭における教育力の強化や、地域における教育環境の充実を図ります。
- 次世代を担う青少年が夢と希望を持ち、個性や能力を發揮できるよう、青少年を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら、学校・家庭・地域・行政が互いに連携し、青少年の健全育成に向けた取り組みを推進します。
- 市民が芸術・文化活動を通して豊かな時間を過ごせるようにするため、文化施設の適切な整備や管理・運営を行うとともに、結城市文化芸術推進基本計画に基づき、文化芸術に関する情報の収集・発信・活動の場の拠点づくり、鑑賞の機会の提供などを行い、より文化芸術に触れることができる機会の創出を図ります。
- 地域の文化財に関しては適切な保存・活用について検討を進め、市民の郷土への理解・愛着の高揚に取り組むとともに、次世代への適切な保存・継承へとつなげます。

3 基本施策の主な指標

	指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
指標1	まちづくりの満足度－生涯学習や文化・スポーツ活動への参加の機会 (結城市総合計画「市民意向調査」)	2.84	3.2	3.4
指標2	まちづくりの満足度－学校教育や青少年の健全育成 (結城市総合計画「市民意向調査」)	3.55	3.6	3.7

4 施策体系・施策が目指す姿

1 自ら学ぶ機会と地域教育体制の充実

地域において教育的・文化的基盤となる施設を適切に管理運営し、市民が生涯にわたって学習し成長を続けることができる環境を整備します。

2 青少年の健全育成

青少年が地域の中で充実した生活を送り、健全に成長することができるよう、環境整備を行います。

3 芸術文化を楽しむ機会の充実

文化芸術に関する情報の収集・発信、活動の場や鑑賞機会の提供など、文化芸術活動を行うために必要な環境整備を行うとともに、市民文化センターや結城蔵美館、公民館での芸術家や指導者の育成を通して、市民の文化芸術振興を図ります。

4 郷土の文化財の保存と活用

本市が有する歴史・文化資産を次世代へ継承するため、文化財や歴史的資料の適切な保存や活用機会の充実に取り組みます。

5 個別施策・主要事業

1 自ら学ぶ機会と地域教育体制の充実

市民の教養の向上や健康増進などを図るため、ニーズに応じた講座やICT*・AI*などの新しい技術に対応した講座を開設します。

また、豊かな人間関係を育む基盤となる幼児期における家庭教育について、子育て講座の開催や家庭教育学級の開催支援を行います。

施設運営については、指定管理者制度*の活用により市民情報センター・ゆうき図書館の適切な管理運営を行うとともに、市立公民館については市内各集会施設等の施設整備計画に基づいた連携強化を図り、分館整備計画の見直し等も含めて検討します。

主要事業

○ 公民館運営事業 [生涯学習課]

市立公民館での市民講座の開催

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
延べ参加者数	1,213 人/年	1,240 人/年	1,250 人/年

○ 公民館整備事業 [生涯学習課]

市立公民館と集会施設との連携強化

施設連携数	2 件	3 件	4 件
-------	-----	-----	-----

○ 家庭教育支援事業 [生涯学習課]

募集型家庭教育学級の開催による家庭の教育力の向上

募集型家庭教育学級参加者数	25 回	30 回	35 回
---------------	------	------	------

○ 市民情報センター・ゆうき図書館管理運営事業 [生涯学習課]

市民情報センター・ゆうき図書館の管理・運営

施設利用者数	265,008 人/年	270,000 人/年	280,000 人/年
--------	-------------	-------------	-------------

4 未来を担う子どもと生き生きした市民を育む地域を目指そう

4-2 生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造

2 青少年の健全育成

青少年の健全育成を図るための環境整備を行うとともに、青少年にとって魅力ある体験活動を実施します。

また、青少年の育成に取り組む各種団体への支援を図り、連携・協力しながら、青少年教育を推進します。

主要事業

○ 青少年相談員設置事業【生涯学習課】

青少年相談員による街頭巡回・立入調査等、各種広報活動の実施

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
街頭巡回数	57回	60回	60回

○ 青少年教育推進事業【生涯学習課】

青少年育成結城市民会議・青少年相談員連絡協議会・子ども会育成連合会等各種団体への支援

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
支援事業数	10回/年	10回/年	10回/年

3 芸術文化を楽しむ機会の充実

リニューアルオープン後の市民文化センターにおいて、指定管理者制度*を活用した施設の適切な管理・運営を行うとともに、市民にとって充実した施設の利用機会を提供します。

また、市民の文化芸術活動の活性化を図り、結城市文化協会が主催するゆうき市文化祭の周知啓発など、文化協会活動への支援を行います。

主要事業

○ 市民文化センター管理運営事業【生涯学習課】

市民文化センターの管理・運営

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
文化施設利用者数	76,474人	110,000人	150,000人

○ 文化振興事業【生涯学習課】

文化芸術審議会の開催、ゆうき市文化祭合同展及び音楽部門合同発表会開催への支援、結城市文化協会への支援

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
文化協会加盟団体・個人数	38団体・人	38団体・人	38団体・人

4 郷土の文化財の保存と活用

国指定史跡結城廃寺跡附結城八幡瓦窯跡については、これまでの発掘調査の成果を広く公開するとともに、安定的に保存し、歴史教育や生涯学習*の場として活用していくため、史跡公園として整備・活用します。

また、史跡等の環境整備、埋蔵文化財の保護及び後世への伝承を図るとともに、郷土の文化財や歴史的資料の収集・保存に努め、それらを展示・公開することにより、市内外に向けた本市の歴史の発信や文化財の活用を図ります。

主要事業

○ 結城廃寺跡整備事業 [生涯学習課]

国指定史跡結城廃寺跡の整備・活用

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
史跡整備状況	整備	整備	整備

○ 文化財保護事業 [生涯学習課]

史跡等の環境整備、市内遺跡試掘調査、土地改良に伴う発掘調査

指定文化財・国登録有形文化財件数	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
	139件	139件	140件

6 個別計画

計画の名称	計画期間	担当課
結城市生涯学習*推進基本計画	2022(令和4)年度～ 2031(令和13)年度	生涯学習課
結城市文化芸術推進基本計画	2021(令和3)年度～ 2030(令和12)年度	生涯学習課
史跡結城廃寺跡附結城八幡瓦窯跡保存活用計画	2021(令和3)年度～ 2025(令和17)年度	生涯学習課
史跡結城廃寺跡附結城八幡瓦窯跡整備基本計画	2023(令和5)年度～ 2025(令和17)年度	生涯学習課

4-3 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進 [スポーツ・レクリエーション]



1 現状と課題

2022（令和4）年3月にスポーツ基本法の理念の具現化に向けて国が定めた「第3期スポーツ基本計画」では、地方公共団体は地域の特性や現場のニーズに応じたスポーツの施策を主体的に実施し、多様な主体におけるスポーツ機会の創出やスポーツを通じた健康増進・共生社会の実現、経済・地域の活性化など、スポーツが社会活性化等に寄与する価値を更に高めるとともに、地域における課題解決を図る観点からも、重要な役割を果たすとされています。

これらを踏まえ、本市ではスポーツに関する現状の課題と中長期的な方針を明確化し、スポーツの施策を計画的に推進するため、2022（令和4年）年3月に、スポーツ実態調査の結果を反映した第2次結城市スポーツ推進計画を策定しました。本市では日常的にスポーツをしている人が全国に比べて少ないことから、今後も引き続き、計画に基づいた「市民1人1スポーツ」「成人週1スポーツ」の実現を目指して、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するとともに、スポーツの社会的な役割の変化に対応したスポーツ関連施策の充実を図る必要があります。

また、中学校の部活動においては、教職員の働き方改革と少子化に伴う児童生徒のスポーツ・文化芸術活動への参画機会の減少・消失を防ぐため、地域展開への取り組みが進められており、指導者の確保や実施体制の整備が課題となっています。

2 基本の方針

- スポーツ・レクリエーション活動が市民の暮らしにうるおいとやすらぎをもたらし、健康的な生活や充実した余暇時間を送れるよう、誰もが継続的に参加できる環境の整備を進めます。
- スポーツ参画人口の増加を図るため、スポーツを「する・みる・ささえる」一員として様々な角度からスポーツへの参画を促すことができるよう、スポーツレクリエーション祭などの事業を開催するとともに、老朽化が進むスポーツ施設の適切な維持管理に努めるなど、スポーツ環境の整備を進めます。
- 継続的かつ充実したスポーツ活動を推進できるよう、結城市スポーツ協会や結城市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ*などの団体の育成とともに、スポーツ推進委員等の指導者の育成、世界や全国を舞台に活躍する本市にゆかりのあるアスリートの支援を行います。
- スポーツを通じた異文化交流による多文化共生*社会の実現や、スポーツツーリズムによる地域の活性化など、スポーツが持つ社会的な役割にも目を向け、多方面からスポーツ振興を図ります。
- 中学校における部活動の地域展開については、市が主体となり指導者及び運営主体の確保・養成についての検討を進め、少子化が進む中でも生徒たちが将来にわたり、継続的なスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保と充実に努めます。

3 基本施策の主な指標

	指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
指標1	まちづくりの満足度－生涯学習や文化・スポーツ活動への参加の機会【再掲】 (結城市総合計画「市民意向調査」)	2.84	3.2	3.4
指標2	スポーツ推進委員の確保	19人	20人	20人

4 施策体系・施策が目指す姿

1 スポーツ参画人口の増加と環境整備

スポーツを通じた活力ある社会の実現を目指し、「する・みる・ささえる」一員として様々な角度から市民のスポーツへの参画を促し、スポーツ参画人口の増加を図るためのイベント・大会の開催を行うとともに、誰もがスポーツ活動を行うことができる環境を整備します。

2 スポーツ活動を推進する人材の育成・支援

誰もが安心して継続的かつ充実したスポーツ活動が実施できるよう、各種団体や指導者の育成を支援するとともに、スポーツの魅力や共感力を活用した地域振興・地域活性化を図っていきます。

また、中学校部活動の地域展開については、指導者や実施主体についての選定・調整を進め、生徒たちが継続して多様なスポーツ・文化芸術活動に触れられる環境づくりを目指します。

4 未来を担う子どもと生き生きした市民を育む地域を目指そう

4-3 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進

5 個別施策・主要事業

1 スポーツ参画人口の増加と環境整備

スポーツイベント等を開催し、より多くの市民にスポーツ・レクリエーション活動の機会を設けることで、スポーツ参画人口の増加を図ります。

また、施設の老朽化や市民におけるニーズを踏まえ、既存のスポーツ施設が有効に活用できるように適切な更新と管理運営を行います。

主要事業

○ イベント・大会開催事業 [スポーツ振興課]

スポーツイベントや各種大会を契機とするスポーツ活動への取組

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
スポーツレクリエーション祭参加人数	395人	400人	400人

○ スポーツ施設管理運営事業 [スポーツ振興課]

スポーツ施設の充実と効率的な管理運営

運動施設の利用者数(鹿窪運動公園・紬の里結城パークゴルフ場)	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
	166,946人 / 年	175,200人 / 年	184,000人 / 年

2 スポーツ活動を推進する人材の育成・支援

継続的かつ充実したスポーツ活動を推進するため、各種団体や指導者、各種スポーツを支える人材の育成と本市にゆかりのあるアスリートへの支援を行うとともに、スポーツを通じた地域の活性化を図ります。

また、中学校部活動の地域展開に向けた、指導員や運営主体など地域人材の協力体制について検討を行い、生徒たちが継続して多様なスポーツ・文化芸術活動に触れる機会づくりに務めます。

主要事業

○ スポーツ活動支援事業 [スポーツ振興課]

活躍するアスリートへの支援と、スポーツ団体や指導者、各種スポーツを支える人材の育成

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
市内スポーツイベント協力者数	279人/年	300人/年	310人/年

○ 部活動の地域展開 [スポーツ振興課]

生徒がスポーツ・文化芸術活動に触れる機会の維持・創出

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
地域展開部活数	0件	20件	30件

6 個別計画

計画の名称	計画期間	担当課
第2次結城市スポーツ推進計画	2022（令和4）年度 ～2026（令和8）年度	スポーツ振興課

4-4 多様性を尊重し合える社会づくり

[男女共同参画・人権／国際交流・多文化共生／地域間交流]



1 現状と課題

個人を取り巻く環境が急速に変化する中、偏見による不当な差別、社会的弱者に対する暴力や虐待、インターネットやSNS*を悪用した誹謗中傷といった人権侵害は後を絶ちません。誰もが人権の意義と重要性を認識し、公平で正確な知識と情報に基づく人権感覚を身につけられるように、対象の世代や属性に沿った人権教育・啓発活動の充実が求められます。男女共同参画への取組は、法律や制度上では整えられているものの、固定的な性別役割分担意識などをはじめとするアンコンシャス・バイアス*は依然として根強く残っている状況です。

また、本市における外国人住民数は令和7年1月1日現在で3,066人、人口に占める割合は6%を超えるなど直近5年間で約1.25倍に増加しており、多国籍化や在住外国人の活動目的・職種の多様化も進んでいます。日常生活で日本人と外国人の接点が増える中、言葉や文化、生活習慣の違いへの理解不足などによる誤解やトラブルを避けるため、相互理解を深める機会を創出し、多文化共生*に対応していくことが課題です。育成就労制度*の創設により、在留外国人は今後も増加が見込まれることから、外国人にも選ばれる地域づくりが求められます。

こうした多様な視点は、災害や防災、都市空間づくりにおいても重要とされています。

2 基本的方針

- 国籍や年齢、性の違い、性的少数者（LGBTQ等）*、障害の有無などに関わらず、誰もが健康で文化的な生活を営み、人権が尊重され、差別のない公正な社会を実現するため、誰もが参画できる地域社会づくりを目指します。結城市人権施策推進基本計画に基づき、関係機関と連携した各種啓発活動により人権意識の高揚を図り、人権尊重のまちづくりを進めます。
- 結城市男女共同参画推進条例等に基づき、アンコンシャス・バイアス*の解消に向けた意識啓発やワークライフバランス*（仕事と生活の調和）の推進、政策や方針決定過程への女性の参画等の促進に取り組みます。
- 多文化共生*社会を実現するため、総務省が策定した地域における多文化共生*推進プラン（改訂）を参考に、市民の意識啓発やコミュニケーション支援、交流機会の提供や外国人の社会参画支援などに取り組むとともに、地域住民にとって安全・安心な、秩序ある共生社会づくりを目指します。また、市民の国際理解を深め、広い視野を持った人材を育てるよう、関係団体と連携しながら国際交流・地域間交流を推進します。
- これらを市民、企業・団体、行政が一体となり、家庭、地域社会、学校、職場などあらゆる場で推進することにより「互いの意見を尊重し、多様性を認め合う社会づくり」を目指します。

3 基本施策の主な指標

	指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
指標1	「男は仕事、女は家庭」という役割分担意識を持たない割合	70.4%	70.7%	71%
指標2	まちづくりの満足度－多文化や多様性を認め合う住民の意識啓発（結城市総合計画「市民意向調査」）	3.56	3.6	3.7

4 施策体系・施策が目指す姿

1 人権尊重のまちづくりの推進

結城市人権施策推進基本計画に基づいた人権施策を推進し、市民が問題解決のため共通認識を持ち、あらゆる差別や偏見をなくし、基本的人権が保障される社会を目指します。

2 男女共同参画社会の実現

結城市男女共同参画推進条例や結城市男女共同参画基本計画に基づき、男女が互いに人権を尊重し責任を担い、性別にとらわれず自らの意思で社会のあらゆる分野に参画し、その個性と能力を十分に発揮できる豊かで活力ある社会を目指します。

3 多文化共生社会の実現

行政や企業、団体などが連携し、外国人と日本人が互いの文化や価値観を尊重するとともに、お互いが暮らしやすく、外国人も地域の担い手として期待され、地域で活躍できる社会を目指します。

4 地域間交流の促進

関係団体と連携しながら、市民の主導による姉妹都市や友好都市をはじめとした地域間交流事業を支援するとともに、お互いの歴史や文化等を通じて自治体間のつながりについて理解を深めることで、交流活動の維持・活性化を図ります。

5 個別施策・主要事業

1 人権尊重のまちづくりの推進

人権講演会や出前講座を開催するとともに、広報紙などを活用した啓発活動や関係機関との連携に取り組み、市民一人一人が自分の問題として捉えられる人権尊重のまちづくりを推進します。

主要事業

○ 人権教育推進事業 [生涯学習課、人権推進課]

人権講演会等の開催

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
人権講演会等の開催回数	2回	2回	2回

2 男女共同参画社会の実現

広報紙、ホームページ掲載による啓発の強化や、講座・講演会の充実を図るとともに、職員研修を実施します。

また、市内事業主へ女性の職業生活における活躍の推進に関する法律について周知を図るとともに、審議会や委員会等の方針や意思決定の場への女性参画を推進するほか、ドメスティック・バイオレンス*防止講座や各種講演会を開催します。

主要事業

○ 男女共同参画推進事業 [人権推進課]

講座・講演会等の開催

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
講座・講演会実施回数	8回	8回	8回

3 多文化共生社会の実現

将来的な地域の担い手育成につなげるため、国際交流や多文化共生*についての学びや交流の機会として、セミナーやイベントを開催します。また、国際交流協会や日本語教室と連携し、外国人の日本語学習支援や国際親善姉妹都市を中心とした交流等を行います。

在住外国人に対しては、相談窓口の設置や情報発信により、安心して地域生活や仕事を継続できる環境を整備し、地域社会に参画できるように支援するとともに、地域におけるルールや法令の遵守を促します。

● 重点事業

主要事業

○ 多文化共生推進事業 [企画政策課]

国際親善姉妹都市等との交流、在住外国人と市民の交流機会の提供、民間団体の育成支援、やさしい日本語の普及促進

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
啓発・交流イベントの開催回数	3回/年	4回/年	5回/年

● 外国人一元的相談窓口設置事業 [企画政策課]

多言語対応による相談窓口の設置、庁内や関係機関との連携による相談対応の強化、行政情報の多言語化の推進

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
一元的相談窓口の相談件数	5,812件/年	6,650件/年	7,050件/年

4 地域間交流の促進

姉妹都市である山形県長井市や友好都市である栃木県小山市、福井県福井市をはじめとする、本市とつながりのある自治体との交流を実施することで、お互いの歴史や文化などについて理解を深め、更なる地域間連携を図ります。

● 重点事業

主要事業

● 友好都市交流事業 [生涯学習課]

福井市の小学生との相互訪問交流の実施

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
相互交流・研修等実施日数	9日間	9日間	9日間

6 個別計画

計画の名称	計画期間	担当課
結城市人権施策推進基本計画	2009（平成21）年度～	人権推進課
第3次結城市男女共同参画基本計画「たままゆプラン」	2021（令和3）年度～ 2030（令和12）年度	人権推進課